

# 『観光地「洞爺湖」は復活するのか?』

～多様な資源の活かし方・その可能性と課題～

洞爺湖は、その多様な自然・文化資源の素晴らしさ・魅力を、如何に国内外に戦略的に発信し、洞爺湖のファンを増やしていくことができるのか?

本フォーラムでは、洞爺湖に縁の深い、分野の異なる専門家・実務家をお招きし、洞爺湖の抱える課題を踏まえつつ、多様な地域資源を活かした観光振興・交流促進の可能性について多角的に議論します。

■とき **6月19日** (日) 午前 10:00～正午

■ところ **洞爺湖文化センター**

## ◆基調講演

・『洞爺湖観光復活の鍵はどこにあるかー「Tohji & Okami プロジェクト構想」の提案ー』

大島直行 (伊達市噴火湾文化研究所所長)

・『洞爺湖の生物多様性保全こそが地域の活力に!』

吉田剛司 (酪農学園大学環境システム学部准教授)

## ◆パネルディスカッション『地域資源活用戦略の新発想～洞爺湖だからできること』

### <パネリスト>

大島直行 (伊達市噴火湾文化研究所所長) / 吉田剛司 (酪農学園大学環境システム学部准教授) / 井門隆夫 (株井門観光研究所代表取締役、関西国際大学准教授) / 北島良人 (TOYAKO マンガ・アニメフェスタ事業推進委員会委員長) / 大西英生 ((社)洞爺湖温泉観光協会副会長) / 兼村憲三 (洞爺湖町役場)

### <コーディネータ>

山村高淑

共催 TOYAKO マンガ・アニメフェスタ事業推進委員会 / (社)洞爺湖温泉観光協会

問合せ 北海道大学観光学高等研究センター 佐藤菜七穂・山村高淑 ☎ 011 - 706 - 5382

### 洞爺湖町の多様な 地域資源の活用

のような、いわゆるサブカルチャーと結びついた観光や秋のジパーク大会で話し合われるジーツーリズムなどです。

洞爺湖町は、これまでの有珠山、洞爺湖といった自然や縄文遺跡などの歴史的文化的ほかに、新たにマンガ・アニメといった現代文化も活用し、新しい観光地づくりをめざそうとしています。

一つの町で、全く違った新しいタイプの観光が実践される例はあまりないのではないのでしょうか。

東日本大震災、景気の低迷など観光地をめぐる状況は、厳しい状況が続いています。

しかし洞爺湖町が持っている様々な地域の資源の活用で、この状況を克服する道も見えてくるのではないのでしょうか。

今年、現代文化の象徴ともいえるマンガ・アニメと結びつけた観光づくりと洞爺湖などの美しい地形を中心とした観光づくりの二つの面から、洞爺湖温泉の再生を探って生きたいと考えます。